

# 簿記：仕訳から貸借対照表作成までのフロー



①貸借対照表作成までのフロー

取引の発生からどのように貸借対照表が作成されるのか簡単に見ていきます。

取引の発生と仕訳	総勘定元帳											
<p>100万円を元手に商売を始めることにした。店舗は賃貸で、月末に支払うことになっている。</p> <p>①現金 1,000,000 資本金 1,000,000</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="2">現金（資産）</th></tr> <tr><td>①1,000,000</td><td></td></tr> </table>	現金（資産）		①1,000,000		<table border="1"> <tr><th colspan="2">資本金（資本）</th></tr> <tr><td></td><td>①1,000,000</td></tr> </table>	資本金（資本）			①1,000,000		
現金（資産）												
①1,000,000												
資本金（資本）												
	①1,000,000											
<p>商売に必要な備品 100,000 を購入した。支払は現金とした。</p> <p>②備品 100,000 現金 100,000</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="2">備品（資産）</th></tr> <tr><td>②100,000</td><td></td></tr> </table>	備品（資産）		②100,000		<table border="1"> <tr><th colspan="2">現金（資産）</th></tr> <tr><td>①1,000,000</td><td>②100,000</td></tr> </table>	現金（資産）		①1,000,000	②100,000		
備品（資産）												
②100,000												
現金（資産）												
①1,000,000	②100,000											
<p>商売に必要な商品 500,000 を問屋から仕入れた。仕入は掛で行った。</p> <p>③仕入 500,000 買掛金 500,000</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="2">仕入（費用）</th></tr> <tr><td>③500,000</td><td></td></tr> </table>	仕入（費用）		③500,000		<table border="1"> <tr><th colspan="2">買掛金（負債）</th></tr> <tr><td></td><td>③500,000</td></tr> </table>	買掛金（負債）			③500,000		
仕入（費用）												
③500,000												
買掛金（負債）												
	③500,000											
<p>上の商品 500,000 を 700,000 で販売した。代金は現金で受けとった。</p> <p>④現金 700,000 売上 700,000</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="2">現金（資産）</th></tr> <tr><td>①1,000,000</td><td>②100,000</td></tr> <tr><td>④700,000</td><td></td></tr> </table>	現金（資産）		①1,000,000	②100,000	④700,000		<table border="1"> <tr><th colspan="2">売上（収益）</th></tr> <tr><td></td><td>④700,000</td></tr> </table>	売上（収益）			④700,000
現金（資産）												
①1,000,000	②100,000											
④700,000												
売上（収益）												
	④700,000											
<p>店舗の家賃 100,000 を現金で支払った。</p> <p>⑤支払家賃 100,000 現金 100,000</p>	<table border="1"> <tr><th colspan="2">支払家賃（費用）</th></tr> <tr><td>⑤100,000</td><td></td></tr> </table>	支払家賃（費用）		⑤100,000		<table border="1"> <tr><th colspan="2">現金（資産）</th></tr> <tr><td>①1,000,000</td><td>②100,000</td></tr> <tr><td>④ 700,000</td><td>⑤100,000</td></tr> </table>	現金（資産）		①1,000,000	②100,000	④ 700,000	⑤100,000
支払家賃（費用）												
⑤100,000												
現金（資産）												
①1,000,000	②100,000											
④ 700,000	⑤100,000											

★決算★

- ・費用・収益を損益勘定に集める
- ・利益を資本金勘定に入れる

決算日を迎えたため、帳簿を締め切り、決算書を作成することにした。総勘定元帳の費用・収益に属する勘定残高を損益勘定に振り替えます。

- ⑥損益 500,000 仕入 500,000
- ⑦損益 100,000 支払家賃 100,000
- ⑧売上 700,000 損益 700,000

損益勘定の残は資本金に振り替えます。

- ⑨損益 100,000 資本金 100,000

損益（費用・収益を集めた勘定科目）	
⑥500,000	⑧700,000
⑦100,000	
600,000	700,000

収益・費用の締め切り

仕入（費用）	
③500,000	⑥500,000

売上（収益）	
⑧700,000	④700,000

支払家賃（費用）	
⑤100,000	⑦100,000

損益勘定の当期純利益を資本金勘定に振替える

損益（費用・収益を集めた勘定科目）	
⑥500,000	⑧700,000
⑦100,000	
⑨100,000	
700,000	700,000

当期純利益

資本金（資本）	
	①1,000,000
	⑨100,000

・資産、負債の各勘定科目を締め  
切り残は次期に繰り越す

資産・負債勘定に属する勘定を締め  
切り貸借対照表に記入します。  
(正確には繰越試算表になります)

仕訳なし

現金 (資産)	
①1,000,000	②100,000
④700,000	⑤100,000 次期繰越 1,500,000
1,700,000	1,700,000
前期繰越 1,500,000	

備品 (資産)	
②100,000	次期繰越 100,000
前期繰越 100,000	

買掛金 (負債)	
次期繰越 500,000	③500,000
	前期繰越 500,000

資本金 (資本)	
次期繰越 1,100,000	①1,000,000 ⑨100,000
1,100,000	1,100,000
	前期繰越 1,100,000

利益が出ると資本が増えること  
になります。逆に赤字になると  
資本が減ることになります。

当期純利益

貸借対照表

現金 1,500,000	負債 500,000
備品 100,000	資本金 1,000,000
	当期純利益 100,000
1,600,000	1,600,000